

まほろば



2017.12
第196号

第9回 母乳育児フォーラム開催

11月18日(土) 弘前大学 50周年記念会館において、第9回母乳フォーラムを開催しました。今回は、弘前病院 BFH (Baby Frindly Hospital 赤ちゃんにやさしい病院) 認定10周年ということで、弘前病院の10年の歩みを振り返りました。岡山での認定式から早いもので10年が経過し、周産期母子医療センターのスタッフは様々な学習会に参加することで、知識と技術の向上に努めてきました。たくさんの妊産褥婦さんや赤ちゃん・ご家族との出会いが思い出され、感慨深い思いです。特別講演では、国立成育医療研究センターの村島温子先生をお招きして「母乳とお薬、どちらを選ぶ?」というテーマでご講演いただきました。妊娠中や授乳中に内服可能な薬剤については関心が高く、また、私たち医療者もとても悩むことのひとつです。成育医療研究センターでは「妊娠と薬情報センター」を開設しており、ホームページで申し込みをすると、弘前大学病院と連携して、相談を受けてくれるというシステムをご紹介いただきました。妊娠と薬でお悩みの方はぜひ活用していただきたいと思います。今回のフォーラムを節目とし、スタッフ一丸となって、赤ちゃんとお母さんと、すべての人にやさしい病院となれるよう研鑽していきたいと思います。

母子医療センター 看護師長：長尾 愛佳

開会のあいさつ
藤 統括病院長



特別講演
村島 温子先生



弘前病院 赤ちゃんにやさしい病院 10年の歩み

BFH啓蒙ポスター

病棟への張り貼下や外来など
病院のあちこちに掲示しています。
たくさんの方へアピール!!



検診時のママたちの感想

母乳を飲ませて幸せな気持ちになった

みんなに励ましてもらって嬉しかった

わが子がとても愛おしく感じられた

これからの人生にきっと役立つことがある

親子の絆、豊かな人間性、簡単にいかない授乳。正しいながらの育児、いくつかの達成感

最初はつらかったけど、母乳をがんばってよかった

母乳は赤ちゃんにとって一生に一度の宝物

一緒に母乳育児頑張りましょう!!!



周産期母子医療センタースタッフの活動

瑞宝双光章の叙勲を祝して



坂本 光一先生（右から2番目）

平成9年4月1日に弘前病院の薬剤科長で退職された坂本光一先生が、平成29年11月3日に瑞宝双光章を授与されました。叙勲後すぐに御礼の報告に当院にられ、藤院長、河野事務部長らと共に、院長室にて20数年ぶりに叙勲のためにご夫婦で上京したことや、20数年ぶりの弘前病院の思い出話に花を咲かせました。当時は、院外処方箋の開始時期で、大変苦労されたことを話されていました。現在の薬剤部の基礎を作られた先生です。坂本先生は、昭和40年1月から大湊病院（現在：

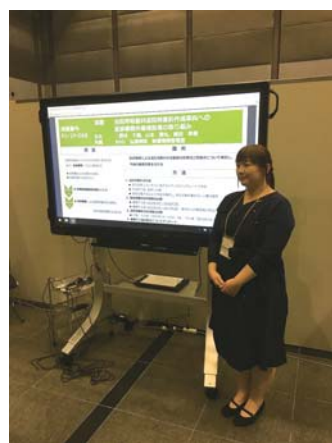
むつりハビリテーション病院）の薬剤師として採用なされてから32年にわたる間、薬剤師として国立病院の一員としてお働きになられ、現在も薬剤師として働いておられます。先生との出会いは、昭和58年仙台病院にて、副薬剤科長の職にあり、薬剤師としての基本を教えて頂いた先生です。幸運にも、もう一度一緒に働く機会を与えて頂きました。平成1年岩木病院（現在：青森病院）の薬剤科長でおられ、初めて雪国に来た私に、仕事の事はもちろん生活全般にわたって教えて頂きました。また、先生は、仕事以外にプロ級の釣りの腕前を持っておられます。その恩恵にあずかり、超大物の「鯛」や「ヒラメ」などのおいしい料理をご馳走になったのも、とても良い思い出となっております。これからは、趣味を楽しみながら尚一層お元気で過ごされますよう祈念いたしております。

薬剤部長：阿部 正彦



瑞宝双光章 勲記

第71回 国立病院総合医学学会に参加して



発表中

11月10日・11日の2日間、第71回国立病院総合医学学会が香川県高松市で開催されました。

今回、「呼吸器科における退院時要約作成率向上への医師事務作業補助者の取り組み」についてポスター発表を行いました。私自身、総合医学学会への参加は

初めてでしたが無事6分間の発表を終えることができました。

総合医学学会で得たものを活かし今後もチーム医療の一員として更なる業務円滑化、医師の事務的業務負担軽減へ貢献していきたいと思っております。

香川県＝うどんのイメージが強いですが、そのほかに瀬戸内海に面していることから数々の島が



集合写真

点在しており、「小豆島」へ行きオリーブに浸かってきました。お肌もスベスベ…かもしれません。

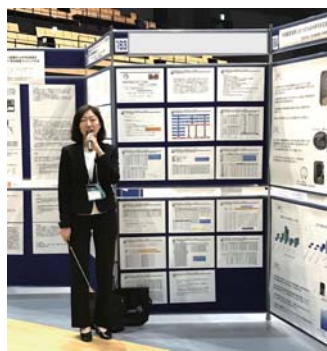
今回の発表に至るまで、沢山のご指導を頂きました呼吸器科の先生方、学会で発表する機会を与えて下さった方々に心より感謝いたします。ありがとうございました。

医師事務作業補助者：
野呂 千鶴



小豆島

日本診療放射線技師学会に参加して



発表中

先日、函館で開かれた、第33回日本診療放射線技師学会に参加して来ました。

私は「内視鏡看護師における水晶体専用測定器の使用経験」と題して、水晶体の被ばく線量だけを測定する機器についてポスター発表して来ました。

当院では他の施設とは異なり、内視鏡看護師を対象に測定実験をしました。多岐にわたる内視鏡を用いた透視下での「診療」「治療」は透視時間が延長する場合があります。そのため、術者や看護師の被ばく線量の詳細を把握しておく必要がある

と考えました。

発表後、参加技師からは内視鏡看護師を対象としたデータに関心を持って頂いたようでした。また、放射線防護メガネの被ばく低減が鉛含有量に思ったほど相関していない点や、看護師の多様な動線や目線が防護メガネによって阻害されていることなどを報告しました。

今後、放射線業務従事者の水晶体被ばく測定の運用が変化していく中で、測定機器や放射線防護機器が診療業務を害すること無く改良されることを望むばかりです。

放射線技師：境 茜



函館アリーナ

防災訓練を実施 ～M9.0 震度6の地震がきた！～

弘前病院では、毎年地震に備えた防災訓練を行っています。今年度は小児を含めた避難対応を設定しました。

発生直後、スタッフは自分の身体の安全を確保した後に、プレイルームで遊んでいる患児や手術後に酸素吸入や点滴をしている患者への対応・避難、そして付き添う家族へは乳児の保温や移動方法を指示し、避難場所へ安全に誘導するまでを設定して実施しました。

昨年の訓練で反省点としてあがった指示の不備

や連携不足を踏まえ、応援に駆け付けたスタッフへ具体的な指示を出し、本部や救護所との連絡を密にし、避難時の患者確認・誘導をしっかり行う事で、連携の取れたスムーズな避難が実施出来ました。

災害は突然起こります。何時に起こっても患者の安全を守る行動がとれる様に、夜間や休日など様々な場面を想定し定期的に訓練を実施して、スタッフの防災に対する意識を高め、合わせてマニュアル作成や環境整備も行っていこうと思います。

4階病棟 看護師長：辻 富美子



発生直後の安全確保



応援者への指示



避難所への誘導



手術後の患者移送

研修医便り

国立弘前病院 1年目の松本麻希です。12月からは小児科で研修させていただいています。実は昨年も、医学科 6年生のクリニカルクラークシップとして国立弘前病院の小児科で実習させていただきました。

少し話は変わりますが、25年前、私は国立弘前病院で生まれました。小さいころはよく熱を出して小児科輪番に連れてきてもらい、弟が虫垂炎で入院した時にはお見舞いに遊びに来ました。そんな弘前病院で今、研修医として働いているのは不思議な感じもあり感慨深くもあります。もしかすると今日であった新生児や小児が大きくなって、一緒に働く未来があるのではとそんな想像をする日々です。

これから2月まで3か月間小児科でお世話になります。その間に1回くらいは風邪をもらってしまいそうですが、風邪に寒さに負けずに、元気に頑張りたいと思います。

2018年もどうぞよろしくお願いいたします。



臨床研修医：松本 麻希

外来診療一覽

◆外来医師診療一覽表 (2017年12月1日現在)

診療科	区分	月	火	水	木	金
循環器内科		熊本 秀樹	横田 貴志	熊本 秀樹	熊本 秀樹	熊本 秀樹
呼吸器科		中川 英之	山本 勝丸	中川 英之	山本 勝丸	中川 英之
		山本 勝丸	下山 垂矢子	下山 垂矢子	下山 垂矢子	下山 垂矢子
		下山 垂矢子	森本 武史	森本 武史	—	森本 武史
		森本 武史	石岡 佳子	—	—	—
消化器・血液内科		松木 明彦	佐竹 立	佐竹 立	松木 明彦	佐竹 立
		山口 公平	山口 公平	松木 明彦	山口 公平	山口 公平
		佐藤 年信	飯野 勢	佐藤 年信	佐竹 美和	佐藤 年信
		石黒 陽	石黒 陽	飯野 勢	石黒 陽	石黒 陽
小児科		杉本 和彦	佐藤 工	佐藤 啓	佐藤 工	杉本 和彦
		佐藤 啓	岡本 剛	弘野 浩司	岡本 剛	弘野 浩司
		梅津 英典	—	—	—	梅津 英典
外科		柴田 滋	山名 大輔	柴田 滋	山名 大輔	三上 勝也
乳腺外科		小田桐 弘毅	小田桐 弘毅	小田桐 弘毅	櫻庭 弘康	小田桐 弘毅
整形外科	午前	黒瀬 理恵	秋元 博之	秋元 博之	リウマチ外来 黒瀬 理恵 一般外来は休診	秋元 博之
		佐々木 規博	佐々木 規博	佐々木 規博		黒瀬 理恵
		飯尾 浩平	太田 聖也	飯尾 浩平		飯尾 浩平
	午後	—	—	—		休診
脳神経外科		—	—	木村 正英	—	—
皮膚科	午前	熊野 高行	佐藤 正憲	佐藤 正憲	熊野 高行	熊野 高行
		佐藤 正憲	熊野 高行	熊野 高行	佐藤 正憲	佐藤 正憲
	午後	● 予約	● 手術／検査	● 予約	● 手術／検査	● 予約
泌尿器科	午前	成田 拓磨	成田 拓磨	成田 拓磨	成田 拓磨	成田 拓磨
	午後	検査	検査	手術	検査	手術
産婦人科		田中 加奈子	丹藤 伴江	丹藤 伴江	● 妊婦健診 (一般外来休診)	湯澤 映
		湯澤 映	淵之上 康平	田中 加奈子		淵之上 康平
眼科		蒔苗 順義	蒔苗 順義	蒔苗 順義	蒔苗 順義	蒔苗 順義
耳鼻咽喉科		西澤 尚徳	西澤 尚徳	休診	西澤 尚徳	西澤 尚徳
		工藤 直美	—	—	—	—
放射線科	診断	佐々木 幸雄	佐々木 幸雄	佐々木 幸雄	佐々木 幸雄	佐々木 幸雄
	治療	—	—	川口 英夫 (午後)	—	川口 英夫 (午後)
女性専用外来		杉本 菜穂子(※予約制／第1・第3水曜日午後診療)				
セカンドオピニオン		—	—	—	今 充	—

※ 学会、出張などにより担当医師が替わる場合があります。

今月の川柳

★川柳募集★ あなたの川柳をお待ちしています。

初雪に 小犬喜び 猛ダッシュ

(大原)

外科手術 神の手喜ぶ 患者たち

(月永 寛)

※掲載作品は広報誌編集委員会を選出したものです。

患者相談窓口

『患者相談室』のMSW(メディカルソーシャルワーカー)が対応していますので、お気軽にお尋ね下さい。

お知らせ

編集委員会より

当院の広報誌『まほろば』は、地域に信頼され、納得の医療で地域に貢献しつつ、地域と協働して歩む病院づくりを目指し、地域の方々を対象に編集しております。皆さまから病院に対して『不安なことや不満足なこと』『ご批判やご指摘』また、『お褒めのことば』を職員一同お待ちしております。

発行元



Hirotsuki National Hospital
独立行政法人国立病院機構

弘前病院

責任者：副院長 小田桐 弘 毅

〒036-8545 弘前市大字富野町1番地

TEL 0172-32-4311

FAX 0172-33-8614

URL <http://www.aoi-mori.net/~hirosaki/>